

総合的な治水対策で浸水被害軽減

ダム事業・河川事業・下水道事業
2級河川 新川

- 新川は、浸水被害の常襲地区であったことから、総合的に内水・外水対策を実施。
- 河川事業、ダム事業および下水道事業による流域全体での整備効果により浸水被害を軽減。
- 令和6年3月に二級河川では九州初の特定都市河川に指定し、流域全体で協働し、さらなる浸水被害防止に取り組む。

平成22年、25年、27～29年に、平成15年と同等の1時間50mm以上(最大68.5mm)の降雨があったけど、家屋の浸水被害はなかったんだらば。また、令和元年6月末からの大雨では、8・6豪雨時を上回る24時間雨量376mmを観測したんだけど、家屋の浸水被害はなかったんだらば！



河川事業 (県)

改修後

標準断面図

W=15m (左岸), W=10m (右岸)

左岸引堤 (城ヶ平橋～徳重橋)

ダム事業 (県)

西之谷ダム

平成25年4月 供用開始

下水道事業 (市)

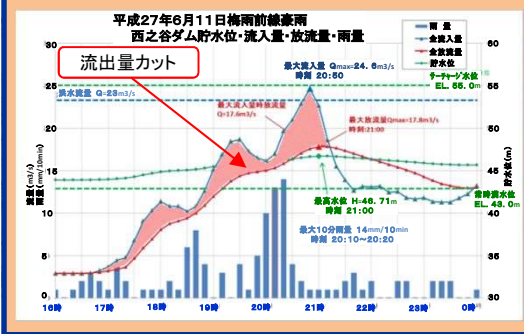
雨水ポンプ場

【内水浸水被害(台風)】
H16年 220戸
H17年 191戸

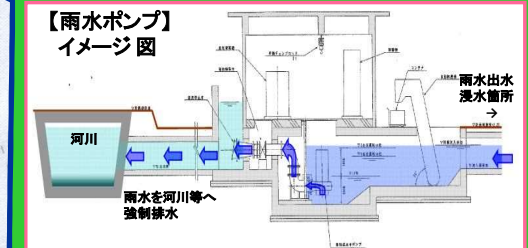
【雨水ポンプ稼働回数】
2,903回(H22.4～R1.12)

家屋浸水被害がゼロに！

平成17年9月撮影



凡 例	
	外水浸水区域
	内水浸水区域



鹿児島湾